

# 図書館だより

平成 23 年 02 月 17 日発行

加茂水産高校図書委員会

NO, 21 (最終号)

今号で図書館だより最終回です。2010 年は国民読書年でしたが良い読書は出来ましたか？

「**お薦め新刊紹介**」で今年度は終わりたいと思います。

## 『いつでも会える』

菊田まりこ / 著

犬のシロは、亡くなった飼主の女の子を捜している。そしてシロは会える方法をみつけた。

シロの言葉に思わず感動する物語。



## 『小さいうち』

中島京子 / 著

赤い三角屋根の家で美しい奥様と過ごした日々を振り返るタキ。時を超えて、語られなかった想いを現代に……。

第 143 回直木賞受賞作。



## 『[新世界]透明標本』

富田伊織 / 著

骨・器官の仕組みを理解する為、骨を染色し筋肉や内臓を透明にする事を透明標本と言います。一つ一つ見入ってしまいます。



## 『アリスのふしぎなお店』

フレデリック・クレマン / 著

著者が娘の誕生日プレゼントに作った絵本が評判になりました。芸術画のような繊細な絵。物語を読み、絵を見る。一石二鳥な作品。



## 『つるかめ助産院』

小川糸 / 著

辛い出生の秘密を抱えるまりあ。失踪した夫を探す為、南の島をおとずれるが、島の助産院の先生から予期せぬ妊娠を告げられ!?



生から予期せぬ妊娠を告げられ!?

## 『絶叫委員会』

穂村弘 / 著

映画・小説の名台詞、歌謡曲の歌詞や日常会話、街頭演説、妻の寝言……。毎日の生活のなかで触れる、印象的な言葉にまつわるエッセイ集。



印象的な言葉にまつわるエッセイ集。

## 『給食番長』

よしながこうたく / 著

好き嫌いクラスに怒った給食の先生は家出をします。「自分達で給食を作る」と自信满满ですが。作る大変さと込められた気持ち



大変さと込められた気持ちが伝わる。

## 『なぜ「そうじ」をすると人生が変わるのか?』

志賀内泰弘 / 著

実話をベースとした日本初の「そうじ小説」。主人公はとあるサラリーマン。たった一つの空き缶で人生が変わりだす!?



たった一つの空き缶で人生が変わりだす!?

# 図書館蔵書の貸出と返却について

今年度の図書の貸出は **2月24日(木)** で終了となります。図書館では毎年、蔵書点検を行っています。蔵書点検とは、「図書」一冊一冊が無くなっていないか点検をしており、皆さんへ貸出した図書がきちんと返ってきているかも合わせて点検しています。**未返却者には2月25日(金)に「督促状」を発行**しますので、自分で借りた図書は責任を持って返却して下さい。